

国際ロータリー第2660地区

吹田西ロータリークラブ ウイークリー 2015-2016

■創立 1980.6.12

事務所 ☎564-0051 吹田市豊津町9番40号 カリーノ江坂1階
☎(06) 6338-0832 FAX (06) 6338-0020

URL <http://www.suita-west-rc.org>

例会場 新大阪江坂東急REIホテル
☎564-0051 吹田市豊津町9番6号 ☎(06) 6338-0109

例会日 毎月曜日 18:00~19:00
役員 会長：青木建雄 幹事：荻田倫也 会報委員長：堀 豊



4

つのテスト ● 真実かどうか ● みんなに公平か ● 好意と友情を深めるか ● みんなのためになるかどうか

第1618回 例会 平成28年6月6日

卓話【同好会報告】野球同好会 清水 大吾 会員
グルメ同好会 伊藤 泰充 会員
ゴルフ同好会 橋本 芳信 会員
【1年間の総括】職業奉仕 橋本 徹也 理事
今週の歌「君が代」「奉仕の理想」

先週内容

会長挨拶 (会長代理) 渋谷副会長



青木会長が国際大会出席でソウルに行っていますので、会長挨拶を代理でつとめさせていただきます。

本日はゲストスピーカーとして、上級ライラ受講者の(株)ビケンテクノの石飛様、そして同社の総務部長の清水様がおいでになられております。本日は宜しくお願い致します。

進行役の席から会長席に移っただけでかなり緊張しております。本日は急でしたので、ロータリーに関する情報は何も持っていません。最後まで宜しくお願いいたします。

ロータリー親睦活動月間

次週 第1619回 例会予告 平成28年6月13日

卓話【同好会報告】俳句同好会 小林 哲 会員
【1年間の総括】社会奉仕 榎原一滋 理事
青少年奉仕 阿部吉秀 理事

お客様紹介

親睦委員会 辻委員

株式会社ビケンテクノ
上級ライラ受講 石飛 誠 様
株式会社ビケンテクノ
総務部長 清水 章男様



株式会社ビケンテクノ 総務部長 清水 章男様

幹事報告

荻田幹事

1. 国際大会に参加し、本日、無事帰ってまいりました。

私は初めての参加でしたが、大変、熱気あふれる大会でした。新井パスト会長夫妻、家村パスト会長、石崎パスト会長は本日の夜に、青木会長、榎原会員、木田会員、木下会員は5月1日に帰られる予定です。

出席報告

出席委員会 澤井委員長

● 会員数 49名 ● 来客 2名
● 出席会員数 32名 ● 本日の出席率 80.00%
● 5月9日の出席率(メーキャップを含む)100%

誕生日 お祝い 6月

昭和 38 年	6 月 1 日	阿部	会員
昭和 26 年	6 月 15 日	渋谷	会員
昭和 26 年	6 月 26 日	佐藤	会員
昭和 15 年	6 月 28 日	郷上	会員
昭和 2 年	6 月 30 日	中堀	会員
			以上 5 名
会員夫人			
	6 月 12 日	家村	会員夫人
	6 月 14 日	郷上	会員夫人
	6 月 20 日	大藤	会員夫人
			以上 3 名

次年度幹事報告 長屋次年度幹事

①次年度理事会報告

1. 秋の移動例会について、10月29日、ガンバスタジアムにおいて開催予定。
当日の試合開始時間が未定の為、正確な時間が判明次第、当日スケジュール等報告作成。とりあえず秋の移動例会は同日、同場所において実施することについて理事会で承認。
2. スリランカの積立金について、スリランカ訪問への積立金については、コロンボセントラルRCとの姉妹クラブ関係の今後の維持など、未確定要素が多いものの、いずれプロジェクトを実行する際に、あらためて資金の寄付を募ることは、時間にも無駄がある。そこで、当面、スリランカ訪問を目的としつつも、国際奉仕プロジェクトの準備として、積立金を行なうことを理事会で承認。寄付金は、クラブ一般会計から支出して特別会計を作る。
3. 社会奉仕の地区補助金利用について、社会奉仕プロジェクトとして、常照園に対し自転車15台の寄贈プロジェクトを予定。地区補助金の申請はしました。
4. 予算の提出について、予算書が提出されました。
5. 本日例会終了後、新旧合同理事会です。

②次年度クラブ協議会報告

5月23日に次年度クラブ協議会が行なわれました。議事録をポストに入れております。

社会奉仕委員会

清水会員（榎原委員長代理）

明後日6月1日は当クラブ主催のクリーンデーです。7時30分新大阪江坂東急REIホテル西玄関前集合です。多くのご参加をお待ちしております。



ニコニコ箱

堀副SAA

- ◆梶山会員：ライラに参加させていただき、ありがとうございました。
- ◆荻田幹事：ソウル国際大会から無事帰ってきました。
- ◆佐藤会員：昨日、長男が結婚式を挙げました。
- ◆橋本（幸）会員：本田会員の日々の努力に敬意を払って。成果が出ますように！

本日までのニコニコ箱	1,364,091 円
本日のニコニコ箱	19,000 円
累計のニコニコ箱	1,383,091 円

2016年度ロータリー 青少年指導者養成プログラム 「春のライラ」（初級）報告書

日時 2016年4月29日（金・祝）～5月1日（日）
場所 ホテル・ロッジ舞洲

テーマ いのちをつなぐ～感動を行動に～

主催 国際ロータリー 第2660地区
ホスト 国際ロータリー 第2660地区
大阪西北ロータリークラブ

【報告書1】 株式会社ビケンテクノ 井野 哲



私は今回、4月29日から5月1日の2泊3日で春の初級ライラ研修に参加させて頂きました。スタッフ及び関係者の方々を始め参加者の皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

初日は小児がんで、命を失った小学生の息子さんをお持ちでした光武さんのお話を聞き、かなり印象に残った講話でした。亡くなった息子さんは小児がんを患ってから余命2ヶ月だと宣告されていたそうです。いきなり鼻血が出たりするなど血が次第に足りなくなったそうです。しかし、「献血」のおかげで、宣告されていた余命2ヶ月より長く生きる事ができたそうです。

余命2ヶ月の間中は「せめて残りの人生を楽しく暮らして欲しい」と光武さんは考え、息子さんの要望を聞いて、好きな事をして残りの人生を

過ごしていましたが、少しずつ病状が悪化してしまい、家族に見守られながら亡くなったそうです。

その翌日に光武さんは新しい赤ちゃんを出産されたそうです。私は自分の妹や弟が生まれる前に自分が死ぬのは正直考えたくない事だと思いました。また、世の中には生きてくても生きられない人が沢山いることを学びました。献血によって提供された血があったにも関わらず命を失ったけれども、それによって生きる時間が延びる事も分かり、自分が如何に献血について軽く考えていたか反省させられました。

私と同じ 20 代から 30 代の年齢層の方の献血が少ないとの話を聞き、将来では益々、献血に協力する人が減少していく傾向があり、若い世代の方達に献血についてもっと知って欲しいと思いました。

2 日目は貿易ゲームを行ないました。これは各班に配られた紙、定規、はさみ、ペンなどを使用して、決められた形のものを作って、売り、売り上げを競うもので、形によっては価格の上昇や下落もあり「どのような形をつくるか」「図形を書く人や紙を切る人を分ける」「資材の交換」などコミュニケーションや役割分担が如何に大切であるかを学ぶことができました。

私の班は、自分の作業に精一杯になるのではなく、皆が周りの様子を見て、実際に手助けする事が出来たと感じました。私達、社会人も働く上で同じ事が言えると、班の中で結論付けました。結果は上位 2 位と言う好成績を残し、班内の絆をより一層深めることができました。

最終日には「リーダーシップとは何か」と言うテーマについて各班で話し合い、そして発表しました。私の班ではリーダーシップとは周りの人に感謝をして、そして成果を出して貢献をする事だと意見をまとめました。この正解が見つからないようなテーマの話し合いに、社会人の先輩や学生、他の国の方の意見も聞くことができ私も非常に勉強にもなり、良い刺激になったのではないかと感じました。

私がこのライラ研修を受けて学んだ事は、全員が自分の力を十分に発揮する為の環境づくりと、皆が力を合わせて、1つの課題を成し遂げる為の気配りやリーダーシップの重要性ではないかと思えます。初日は同じ班の人とも全く話が續かなくて 2 泊 3 日を乗り越えられるのか不安な気持ちになりましたが、日にちが経つに連れて、少しずつコミュニケーションが取れる事ができ、同じ課題に向けて、皆と協力して取り組む事ができて非常に充実した 2 泊 3 日でした。

今回のライラ研修を受けて学んだ事を今後の私の人生に生かし、またライラ研修を受ける機会がありましたら、再度参加したいと思いました。この度はライラ研修に参加させて頂きまして本当にありがとうございました。

【報告書 2】 株式会社ビケンテクノ 野見山 徳人



私は 4 月 29 日から 5 月 1 日の 2 泊 3 日で春のライラセミナーに参加させて頂きました。スタッフ及び関係者の方々を始め参加者の皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

今年のテーマは「いのちをつなぐ～感動を行動に～」と言うテーマでリーダーシップについての研修を受講しました。

初日は開講式が終わった後、参加者 46 名が 7 班に分かれ自己紹介をして、その後アイスブレイクを行いました。アイスブレイクでは人間知恵の輪を班対抗で行いました。これは班で円になり、隣の人以外と手を繋ぎ、それを班で協力して解いていき最終的に一つの大きな円を作ると言うレクレーションでした。これを他の班よりも早く解く為には、班でコミュニケーションを取りながら進めていかなければならないので班員とは自然と会話をして打ち解ける事ができました。

2 日目は AED 等を使用した救命講習を行いました。AED の講習は会社でも警備員研修の際に学ぶことがあったので、やり方は大体理解はしていましたが、もし実際に人が倒れている場面に直面すると、AED の使い方を知っていたとしても、状況に圧倒されて動けるか分かりません。そのような状況で 1 番に動ける行動力が大切だと感じました。

最初の 1 人が動くと、それをみて動いてくれる人もいると思います。AED の講習では AED 等を使った人命救助の方法と行動力の大切さを学びました。

最終日には「リーダーシップとは」について班毎に発表をしました。私はリーダーシップとは人によって様々な形があるものだと感じました。会社やチームなど団体に動いていると様々な困難や問題に直面すると思います。そのような時に、その場を完璧に仕切る事ができるリーダーもいれば、判断力が優れている的確な指示ができるリーダー

もいると思います。リーダーになるにはまず、自分の長所を理解して伸ばして行く事だと思いました。リーダーとは特定の人だけがなるものではなく、みんながリーダーになる個性を持っていると思います。

私は今、部署の中でも一番後輩ですが、これから私にも後輩ができ、リーダーシップと言うのは

必要になってくると思います。これからも会社の先輩方の仕事を見て学び、自分なりのリーダーシップを身に付けるように頑張りたいと思います。

この度はライラ研修に参加させて頂きまして本当にありがとうございました。

以上

卓 話

「上級ライラを受講して」

株式会社ビケンテクノ 石飛 誠様



2015年10月10日から1泊2日で秋の上級ライラに参加させていただきました。今回は六甲山Y M C Aという宿泊施設で研修を受けました。今回の上級ライラは、春の初級ライラの研修を受けた方が参加対象者なので、全員は顔見知りだった為、すぐに打ち解けることができました。1泊2日という短期間で多くのレクレーションや基調講演を受けました。

私がこのライラ研修のプログラムの中で一番心に残っていることは、永峰講師による“リーダーシップの在り方 指揮者の現場から”という基調講演でした。

大学時代は法学部を専攻され、シンフォニーオーケストラの指揮者という畑違いの仕事に就きながらもリーダーシップを発揮しなければ、オーケストラという1つの美しい完成形にはたどり着くことが出来ないというお話でした。指揮者という仕事は、数ある楽器の中で、各パートの重要度の位置づけを行ない、さらにその中でどう表現するのか、演奏者にどう伝えればよいのかが難しいと仰



上級ライラ受講 終了証書 授与

ていました。また、複数の楽器がある中で、不必要なパートというのは1つもなく、個々の表現力をどうやって最大限に引き出すかが指揮者として課せられている仕事の1つだとも仰っていました。この事は指揮者だけでなく、リーダーとなる人全員にも言えることだと思います。仕事をしていくうえで、誰一人欠けることなく、1人1人が最大限の力を発揮する場を作ることがリーダーとしての仕事ではないかと思いました。当社ではこのことがお客様への、より良いサービスを提供するという結果に繋がるのだと思います。

お茶の心というプログラムでは、初めて茶道を体験させていただきました。茶道にはお招きした方に、おもてなしの精神で対応すること。またお茶をいただく人同士が隣の方にも配慮してお茶をいただくということも知りました。千利休が愛用していた茶杓という茶道の道具を見て、実際に触らせていただきました。ライラ研修の行事だからこそ、このような貴重な体験が出来たのだと思います。

そして色々な地域の方や海外の方との意見交流の機会も数多くありました。他の方の意見に触れることで、私自身の考えの幅が広がったと感じています。今回のライラ研修ではこのような事を学ぶ良い機会になりました。これから社会で活躍していく為に、今回のような経験がすごく大事になってくるのではないかと思います。一日でも早く、一人前になり、リーダーシップ能力を発揮できるような人間になり、また、後継の人材を育て上げられるように努めてまいりたいと思います。